

腹腔鏡下手術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後する事がありますのでご了承ください。わからない事がありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院日～手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目 退院日
目標	手術の準備を整えることができる。 	痛みのコントロールができている。 血圧や脈拍などに異常がない。	歩行ができる。 	退院後の注意点を知っている。			
処置	おへその処置をします。 弾性ストッキングのサイズを測り、お渡しします。 (:) に看護師と一緒に手術室に行きます。	弾性ストッキングをはきます。 手術用のネームバンドを装着します。 酸素を吸入します。 心電図モニター、フットポンプを装着します。 適宜、体温、脈拍、血圧を測ります。	酸素の吸入を中止します。 心電図モニター、フットポンプ、弾性ストッキングをはずします。	手術創のフィルムをはがします。 退院前の診察をします。 (6階西病棟または外来診察室)			
点滴	手術室に入ってから点滴を始めます。 	終了後、点滴の針を抜きます。 ※体調によっては3日目以降も点滴を続ける場合があります。					
お薬	普段飲んでいるお薬がありましたら、看護師にお知らせください。 *手術前後のお薬については、医師の指示があります。 21時に下剤を飲みます。 	朝、持参薬は指示されたものだけ内服します。 *朝・夕分は中止です。	持参薬の内服については医師から指示があります。	抗凝固薬・抗血栓薬を内服していた方は、月 日から再開してください。			
検査	血液検査(手術の輸血用)	手術室でレントゲン撮影	朝、血液検査 	※退院まで、必要に応じて血液検査・レントゲン撮影があります。			
食事	夕食まで食事ができます。21時以降は何も食べないでください。 食事と一緒に術前飲料水が出ます。 ※医師の指示で入院後から食事がとれない場合もあります。	朝まで術前飲料水が飲めます。 <input checked="" type="checkbox"/> 午前手術⇒朝7時まで <input checked="" type="checkbox"/> 午後手術⇒朝9時まで	食事や水分をとることはできません。 ベッド上でうがいをすることは可能です。	朝から水分がとれます。 朝から食事が開始になります。	特に制限はありません。 		
活動安静度	特に制限はありません。	翌朝まではベッド上で安静に過ごします。 起き上がることはできませんが、寝返りは可能です。必要時、体の向きを変えます。	朝から起き上がることができます。 座る練習から始め、その後看護師と一緒に歩く練習をします。その後、問題がなければ活動の制限はありません。	歩行をすすめてください。 特に制限はありません。			
排泄	特に制限はありません。	排便があったら、看護師が量の確認をしますので、トイレは流さずに看護師を呼んでください。	手術中に尿の管を入れて、自然に尿が排出されるようにします。 排便はベッド上になるので、看護師にお知らせください。	朝、歩行ができたら尿の管を抜きます。 尿の管を抜いた後は尿がきちんと出ているか確認させていただきます。 必要時、蓄尿袋に尿をためていただくことがあります。	朝までガスが出ない場合、坐薬を使います。 		
清潔	除毛(必要な場合のみ)とおへその処置の後にシャワーに入っています。 マニュキュアは除去し、爪が伸びている場合は切ってください。	お化粧は落としておいてください。	温かいタオルで体を拭きます。	傷の状態によってシャワー浴ができます。 			
説明指導	入院までの経過や今までかかったことのある病気、飲んでいるお薬のことなどをお尋ねします。 入院診療計画書をお渡しし、入院生活・治療の流れを説明します。 手術に必要な書類や物品の確認をします。 ・必要書類：手術同意書 輸血同意書(必要時) ・必要物品：ナプキン	手術室へ行く前に、ブラジャーやシャツは脱いでください。 時計、入れ歯、コンタクトレンズ、貴金属類ははずし、貴重品は家族の方に渡してください。	手術直後は頻回に観察させていただきます。 痛いときや吐き気があるときには、我慢せずに看護師にお知らせください。	退院は10時頃です。 9時以降に、事務職員からお会計についての説明がありますので、お部屋でお待ちください。 退院時に退院療養計画書、退院証明書、退院処方箋をお渡しし、次回の外来について説明します。 ネームバンドをはずします。 			
その他	当日の面会制限はありません。手術中はご家族は4階の手術待合室でお待ちください。 ご家族の方は(:)までに病室にお越しください。						



38度以上の発熱、強い腹痛などありましたら、外来にご連絡、ご相談ください。